

ARECプラザ 第123回リレー講演会

【工業デザイン分野】

日時：平成23年4月21日（木） 15:00～17:40 終了後、交流会開催

場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階

(上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel: 0268-21-4377)

講演1

15:00～15:50

『教育現場でのデザイン』

禹 在勇 氏 長野大学 企業情報学部 デザインコース 教授

概要 近年、企業が求めるデザインニーズはますます高度化しており、こうしたニーズに対応するためには、次世代を担うデザイン人材育成が急務である。しかしながら「意匠」あるいは「デザイン」という言葉の意味は意外に知られていない。このようにある単語「デザイン」が一人歩きしているのは、この「デザイン」という言葉に対する強い要望と大きな期待の反映と受け取ることができる。しかしながらそのような要望と期待に、現状のデザイン教育は十分に応えられているのだろうか？ここでは大学におけるデザイン教育に求められているものを明らかにしていくとともに、それを踏まえた長野大学における取り組みを紹介する

講演2

15:50～16:40

『これまでのデザインとこれからのデザイン』

吉良 康宏 氏 信州大学 繊維学部 創造工学系 感性工学課程 教授
元 ヤマハ株式会社 執行役員 デザイン研究所 所長

概要 日本のモノづくりがいつの間にか自信を喪失してしまっている。自信を取り戻す道はないのだろうか。以前の日本では実に真面目なモノづくり、デザインをしてきた。それが競合他社あるいは競合製品との熾烈な戦いを繰り広げるうちに、いつの間にかマーケット指向が強くなり、単に差別化を目的としたり、あるいは、消費者に媚びたり、おもねるようなものづくりをしてきたように思う。ここでもう一度原点に立ち返って、日本人の感性を生かした真面目な、そして独自のモノづくりの道を目指すべきではないだろうか。それこそが世界に誇れる日本の強みであり、自信も取り戻せると思うからである。

休憩

講演3

16:50～17:40

『セイコーエプソンにおけるデザインの取り組み』

酒井 宏明 氏 セイコーエプソン株式会社 機器デザインセンター 部長

概要 製品の感性品質を高めるためのデザイン開発プロセスと要素技術開発について、カラリオ（インクジェットプリンター）の開発事例を通して紹介する。また、企業内デザイン部門に求められる役割や取り組むべき課題の変化について紹介する。

交流会（参加費無料）

17:50～

お申込先 AREC プラザ 事務局宛

メール（mousikomi@arecplaza.jp）またはファクス（0268-21-4382）でお申し込みください。

第123回リレー講演会 参加申込書		(平成23年4月21日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファクス番号		

ご記入いただいた個人情報（御社名、所属 役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません。